

台本・作曲

林 光

原作

サムイル・マルシャーク

訳

湯浅芳子

演出 岡村春彦

美術 松野 潤

衣装 八重田喜美子

照明 黒尾芳昭

オペラシアターこんにゃく座公演

オペラ
森林は
生き
て
い
る

「もえろもえろ あざやかに
月たちが歌う焚き火のぬくもりの
なかで(むすめ)はなにを
もらったか?
女王はなにを学んだか?

わがままな女王の気まぐれから
はじまったかといっぱいの
金貨につられたマツユキ草探
むりやり冬の森に行かされた
(むすめ)が出会ったのは
(時間)をつかさどる自然の
まもり手一月から十二月まで
十二人の(月の精)たちだった

Photo:青木 司

2002年10月12日[土] 開場18:30 開演19:00

黒部市国際文化センターコラーレ(カーターホール)

<全席指定> 一般 4,000円 高校生以下 2,000円

※この公演は黒部市の助成により低料金に設定しております。

主催:財団法人黒部市国際文化センター 共催:黒部市 協賛:チューリップテレビ・エフエム富山 後援:黒部市教育委員会

お問い合わせ・チケットの申込み

コラーレ/富山県黒部市三日市20番地 TEL.0765-57-1201 FAX.0765-57-1207

info@colare.jp http://www.colare.jp/ 開館時間:9:30~22:30(土曜~23:00)/毎週水曜休館

■プレイガイド

[黒部市]コラーレ.....0765-57-1201

メルシー.....0765-54-2221

[魚津市]新川文化ホール.....0765-23-1123

魚津サンプラザ.....0765-24-3030

[入善町]コスモホール.....0765-72-1105

コスモ21.....0765-74-9100

[宇奈月町]宇奈月国際会館.....0765-62-2000

[朝日町]アスカ.....0765-82-2000

[富山市]インフォマート(市民プラザ).....076-491-0110

(CIC駅前店).....076-444-7013

[婦中町]アルプラザ富山(ファボーレ内).....076-466-1828

[高岡市]高岡大和.....0766-27-1774

■5歳未満のお子様の入場はご遠慮願います。

■公演中の一時保育(無料)を希望される方は
事前にコラーレにご連絡ください。

これはたぶん、森がはぐくんできた ながいながい時間が、
古老の口にかくして語った話……。

いつものように、森へたきぎ拾いにきた働きものの娘は、
偶然出会った兵士から不思議な話をきいた。

それは大晦日、森でひそかに交わされる、
「時」をめぐる十二の月の精たちの秘めごとだ。

さて、宮殿では、今日も女王が博士（家庭教師）を困らせている。

ひょんなことから、気まぐれな女王が

真冬に四月の花マツユキ草をほしいと言いだし、国じゅうが大さわぎ。

ほうびの金貨に目のくらんだ欲ぶかい継母のいいつけで、

吹雪の森に分け入った娘は、そこで十二の月の精と出会う……。

台本・作曲

林 光

原作

サムイル・マルシャーク

訳

湯浅芳子

演出 岡村春彦

美術 松野 潤

衣装 八重田喜美子

照明 黒尾芳昭



<CAST>

キャストは変更になる場合もあります。

1月・総理大臣……………	金子左千夫
2月……………	松川和弘
3月・女官長・リス……………	花島春枝
4月・オオカミ……………	酒井聡澄
5月・ウサギ・もうひとりの兵士……………	西川まゆみ（井上弓子）
6月・もうひとりのむすめ・リス……………	井上弓子（西川まゆみ）
7月・むすめ……………	青木美佐子
8月・カラス・警護隊長……………	高野うるお
9月・オオカミ・おっかさん……………	岡原真弓
10月・女王……………	鈴木あかね
11月・兵士……………	内山靖博
12月・博士……………	大石哲史

ピアノ……………関 直子

オペラシアターこんにゃく座は、＜新しい日本のオペラの創造と普及＞を目的に掲げ、1971年に創立されました。

母体となったのは、東京芸術大学内で1965年から12年間にわたって活動が続いた学生たちのサークル「こんにゃく体操クラブ」です。このクラブでは、故宮川睦子氏（元東京芸術大学名誉教授）指導のもとに、身体訓練と演技の基礎訓練が行われました。

こんにゃく座は、この「こんにゃく体操クラブ」出身者たちにより、日本語のオペラ作品をレパートリーとするオペラ劇団として設立され、全国巡回公演を開始しました。

日本で上演される多くのオペラは、言葉が聞き取れず字

幕の助けを必要とすることが多く、そのため一般の観客が楽しめるものになっていません。その中で、こんにゃく座は創立当初から日本語をいかに伝えるかを課題とし、その結果、よく聞き取れる、内容の伝わるオペラが数多く創り出されました。

こんにゃく座はまた、オペラの演劇性を重視し、演出面にも斬新な発想を提示し続けています。そして大掛かりなグランド・オペラの方向はとらず、ピアノのみ、あるいは小編成のアンサンブルの演奏と少人数の出演者による作品を創作し、上演を重ねてきています。

その成果は各方面からの評価を得ています。

